

令和 7 年 8 月 16 日

東員町議会予算決算常任委員会

委員長 大谷 勝治 様

委員 川瀬孝代

研修報告書

研修期間	<u>令和 7 年 8 月 6 日（水）</u>
研修（視察）先	いなべ市議会
目的（テーマ等）	議会における施策評価・事務事業評価について
参加議員名 （複数の場合）	予算決算常任委員会（委員 13 名）・議長 （議員全員）
資料添付の有無	有 ・ ○ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

概要・内容

いなべ市では、決算審査における事務事業評価として協議事項の説明を受けました。予算決算常任委員会の所管事務調査として行い、評価対象事業は所属会派で精査し、分科会に 1 事業を様式に書いて提出し、分科会において、2 から 3 事業に絞り込み評価対象を決定する。

6 月から 8 月に調査研究計画をつくり評価シートに基づき調査研究を行う。

9 月には、評価結果をまとめて提言を委員長に提出し、委員長から議長に提出、令和 4 年度は「決算認定における付帯意見」とし、9 月議会で決議とした。

評価シートの説明を執行側に説明し、市長から提言に対する回答を受け、新年度予算への反映についての説明を受け回答としている。

所感

事務事業評価のスケジュールが丁寧に行われている。分科会方式はよいと思いました。

評価シートは評価数のところがわかりにくいと感じました。

いなべ市議会では、議員間の討議が活発に行われている、東員町議会としても必要なことです。

いなべ市議会の宣言では、議会検証評価特別委員会を設置しています。

議会活動の内部評価をして議会としての役割を担う意気込みを感じました。

いなべ市議会として、事務事業評価については実施しながらさらに考えていくとのことでした。

東員町議会として、議会改革の一環であり、議会基本条例に示した事務事業評価は実施してきていますが、令和 7 年度は、委員から見直しの意見もあり、今後の取り組みを精査しないといけません。

東員町議会としてみたところ、実施内容はさほど変わらないと思いました。

議会としての役割を果たしていくことに努めていきたいと思います。